

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 祝町 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

教科に関する調査(国語、算数、理科)
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・どの項目も全国平均を上回っている。特に「思考・判断・表現」の正答率が高かった。 ・「記述式」の問題については、全国平均を大きく上回った。
	よくできた問題	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えたり、登場人物の相互関係について、描写を基に捉えたりする問題
	努力が必要な問題	学年別に習う漢字を、文の中で正しく使う問題
算数	全体的な傾向や特徴など	・どの項目も全国平均を上回っている。特に「思考・判断・表現」の正答率が高かった。 しかし、無回答率については、全国平均を上回っているものが多かった。
	よくできた問題	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述したり、図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解し向かい合う辺の長さを求める問題
	努力が必要な問題	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めたり、伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述したりする問題
理科	全体的な傾向や特徴など	・ほとんどの項目が全国平均を上回っている。特に「思考・判断・表現」の正答率が高かった。 ・「短答式」の正答率が唯一全国平均を下回っている。
	よくできた問題	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想したり、観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈したりする問題
	努力が必要な問題	「メスシリンダー」等の器具の名称や使い方等を答える問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分にはよいところがある」と答えた児童と、「先生はあなたのよいところをほめてくれる」と答えた児童の割合が全国平均を大きく上回っている。 ・全員が「読書は好き」と答えているが、「1日当たりの読書時間」はほとんどの児童が1時間より少ない。 ・調べ学習だけでなく、自分の考えをまとめたり、発表したりする場面でのタブレットの活用が昨年より増えているが、全国平均は下回っている。 ・家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が高い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・読書の時間の確保や、タブレット活用のスキルアップを、朝の学力向上タイムで継続して行う。
- ・授業の中でのタブレットの活用を増やし、いろいろな場面で活用できるスキルが身に付くように指導していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・自主学習ノートを全学年に配布し、家庭学習に活用していく。
- ・自主学習ノートの「祝っ子ノートコンテスト」を実施することで、しっかり取り組んでいる友達のノートを参考にできるようにし、意欲の向上につなげる。